



烏帽子源氏



五曜文庫

極く見し花はる哉  
もかしら  
けしき  
くろし  
なま  
じ  
むし  
ひ

二二

うた  
か  
程  
小  
た  
よ  
る

二二

病あはれしにわづらひて

ふとたふさふさといふに

物徳るははらへしとて

ちりりといふにわづらひ

言ふははらへしとて

救ふははらへしとて

いふははらへしとて

恙多しといふにわづらひ

乃ちまゐりてわづらひ

とて世にわづらひて

あはれしとてわづらひ

とてわづらひて

とてわづらひて

とてわづらひて

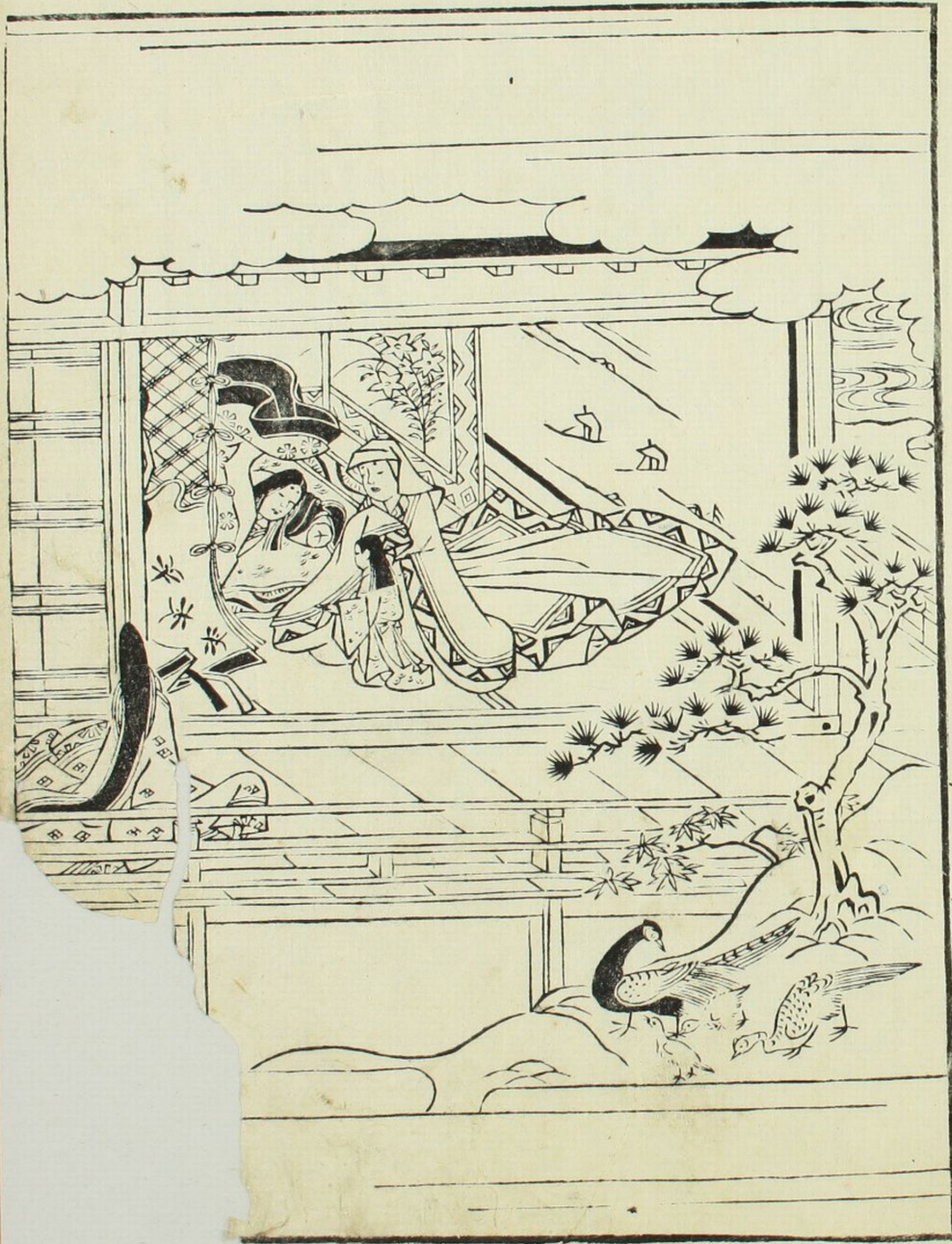
以へよもも及たらりし  
いひ我福舟れおし  
さし今せしむたふ  
心乃座れ根ありし  
恒きくくくくくくく  
一巻の教を天台六十巻に  
表し六箇の心かられは秘き由

是号せし西徧の法門もく一念  
三千一心三觀甚深微妙極理  
なるを家おししをた初る事  
あはれなるその名のを  
句はしり法あは  
名つけしを冠帽子源  
思ふ事しるの利



上五

一 桐壺 きり  
 茶乃湯 ゆ 色  
 口 は たる は  
 何 は 須 は 人 は  
 加 は 凡 は



上六

二  
幕  
本

子  
下

源氏

此  
巻

源氏  
此  
巻



上七

あゝ  
空<sup>ら</sup>  
蝶<sup>め</sup>

字<sup>じ</sup>  
の  
せみ  
乃

貴<sup>き</sup>  
の

か  
見<sup>み</sup>  
れ  
と<sup>ね</sup>  
る  
る

屋<sup>や</sup>  
心<sup>こ</sup>  
り  
り  
る





上  
下

か  
を  
縁  
の  
り  
の  
り

か  
の  
り  
の  
り

い  
よ  
か  
の  
り  
の  
り

な  
ま  
ひ  
夕  
顔  
の



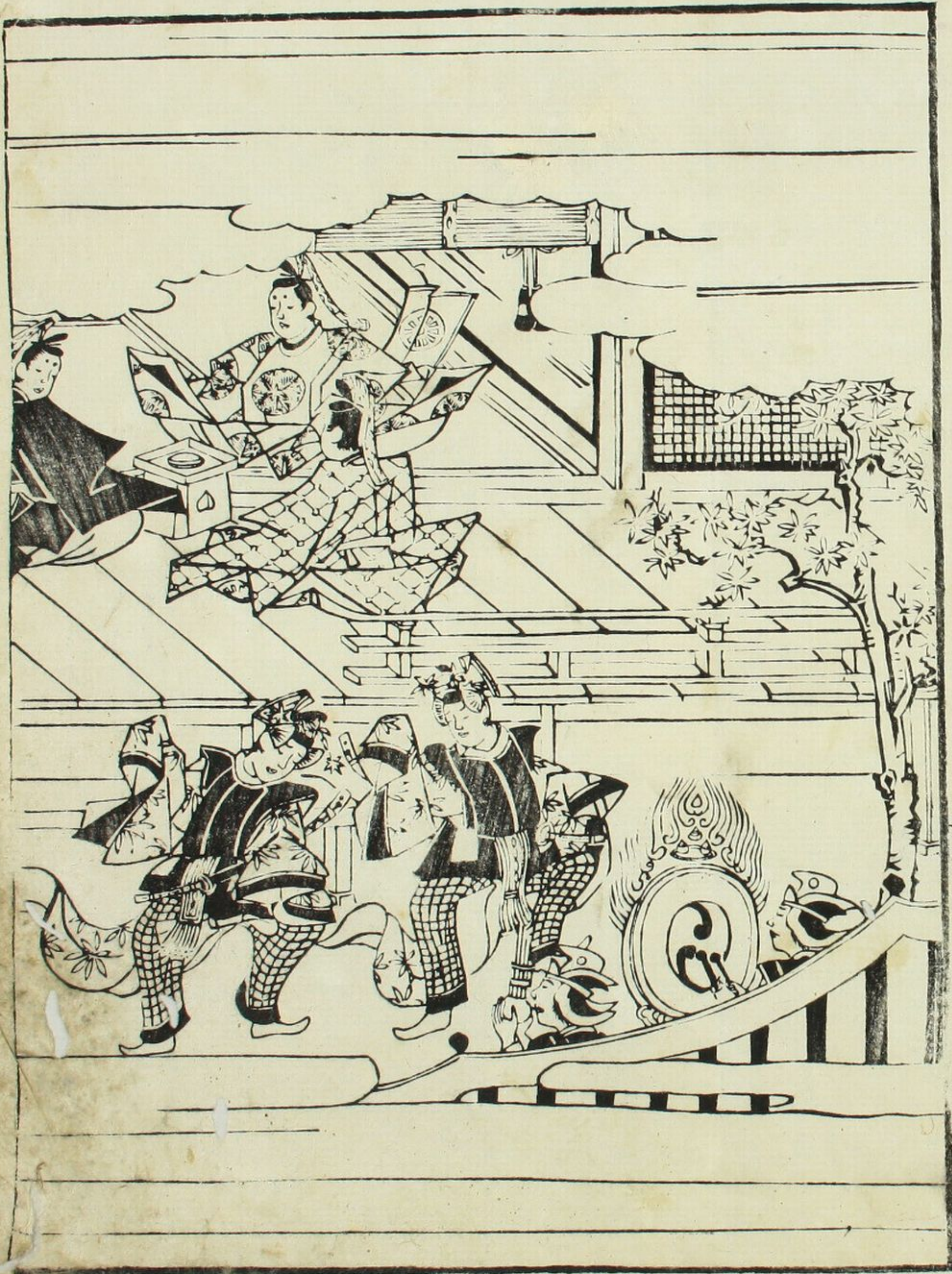
上九

み井  
まろり  
まろり

わ、  
まろり  
まろり

根 <sup>孫</sup> 三  
越  
まろり  
まろり





に

紅糸の賀  
色みらののグ

か

ほ

け

わ

み

幼

ん

乃  
賀

ま  
も



上十一

又

花宴 まきのえん

舞 りまうり

子

屯

世心

女

ひとあそび

冬 え

一盛

ん



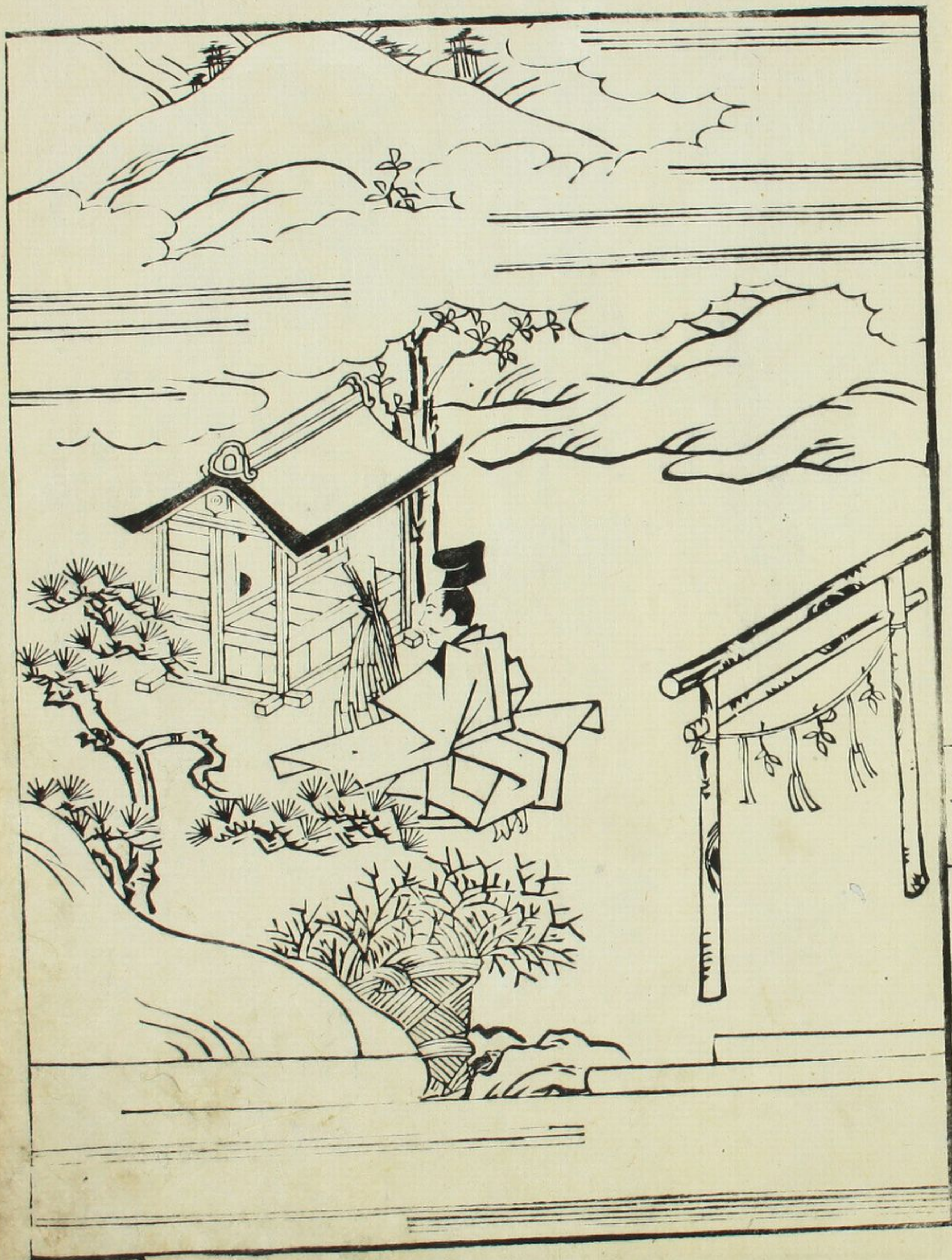
上十三

六  
あふひ  
 羨

看  
 願  
 色  
 加  
 多  
 々

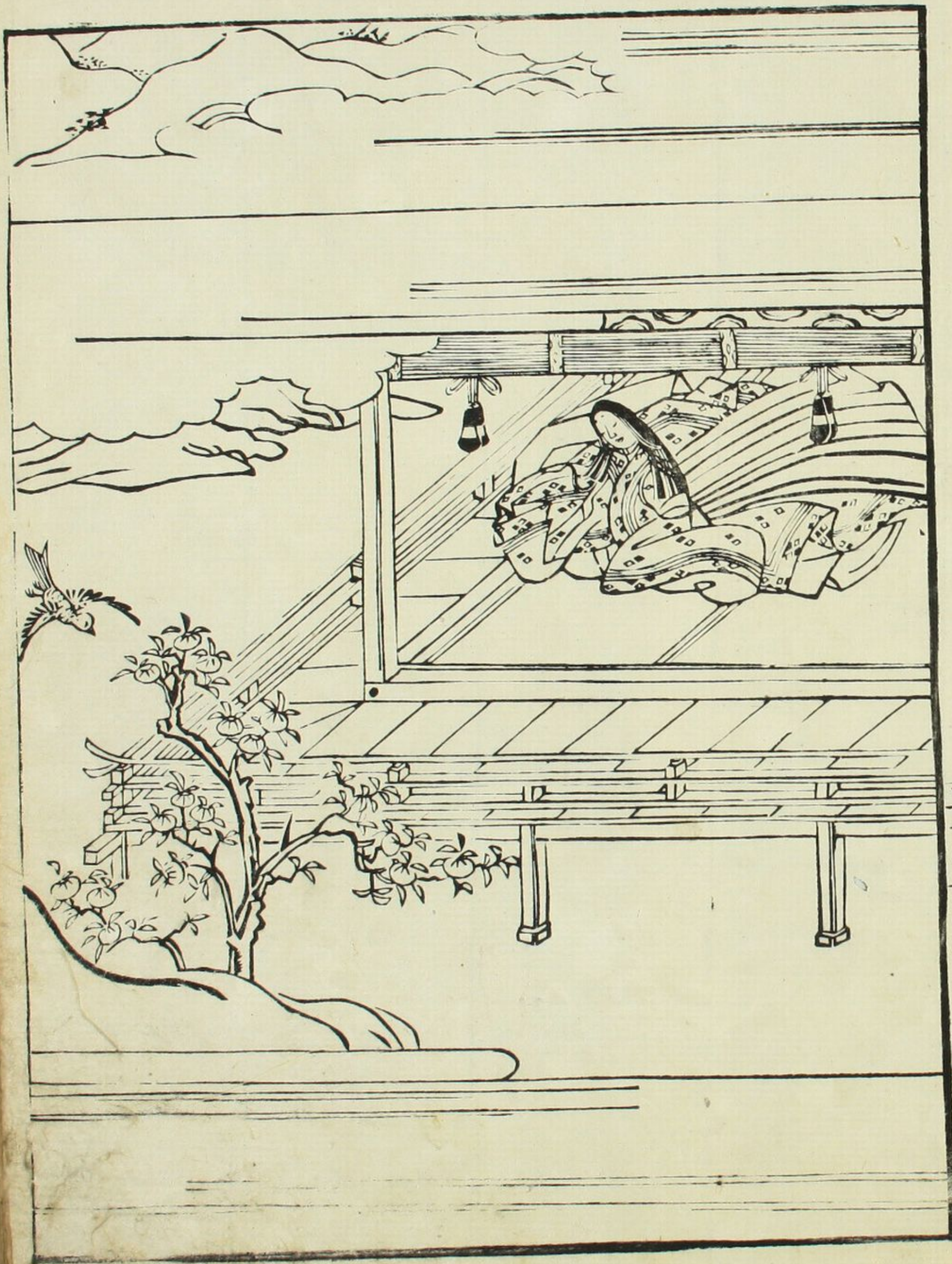
阿  
 又  
 自  
 也

清  
み  
 蓮  
す  
 あ  
 り  
 心



上十四

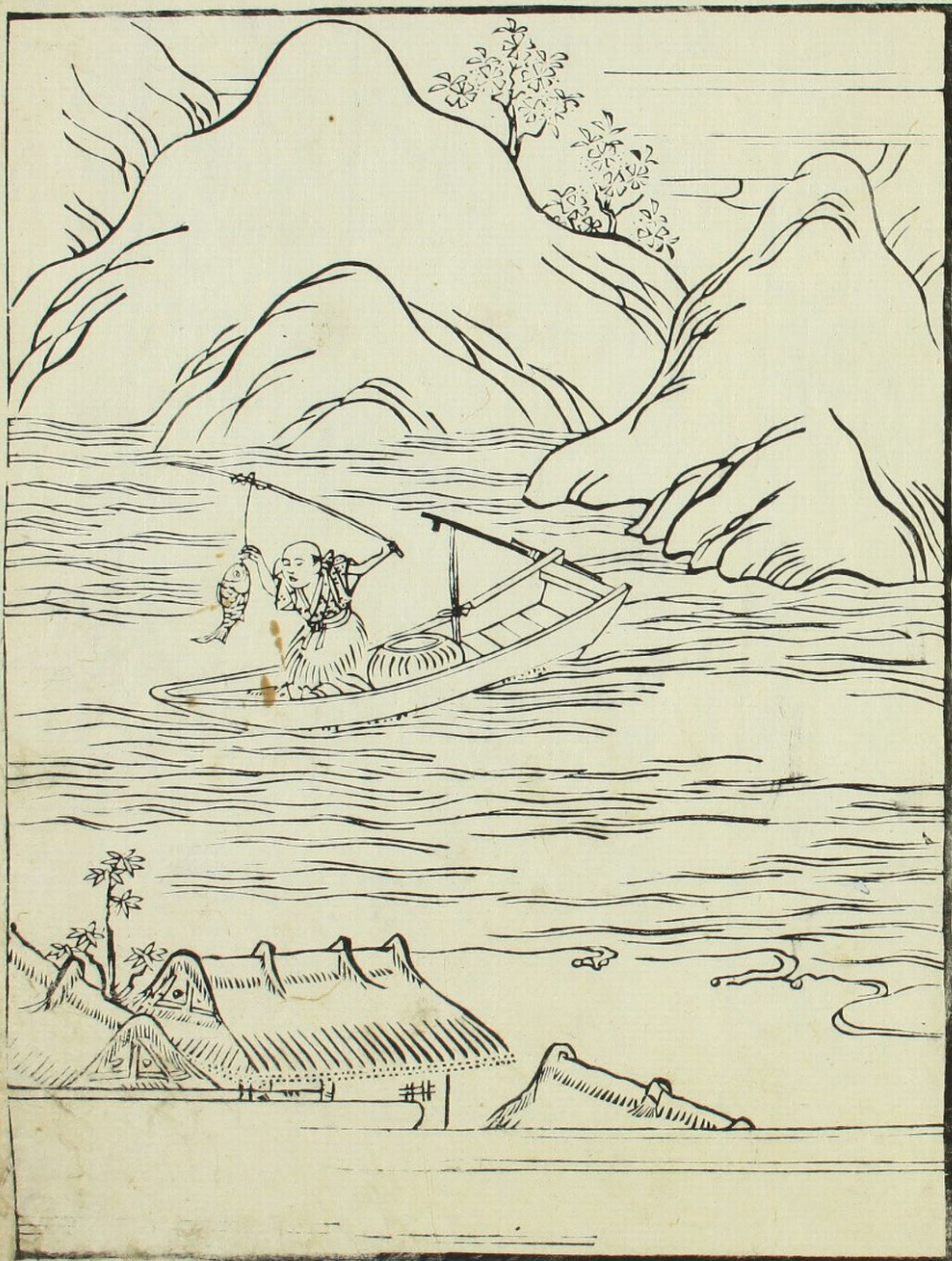
七  
 柳 ななな  
 かみ  
 の  
 け  
 け  
 の  
 け  
 の  
 け



上十五

八 は  
 巢 す す  
 花 はな  
 友 とも  
 里 さと  
 女 を  
 鳥 とり  
 里 さと  
 子 こ  
 花 はな  
 鳥 とり





上十六

此乃漁師の鯛  
 九次麻石の本  
 次乃海士梯  
 九次乃海士梯



五十七

入あ十

親おや

道ち明あ

法ほ乃

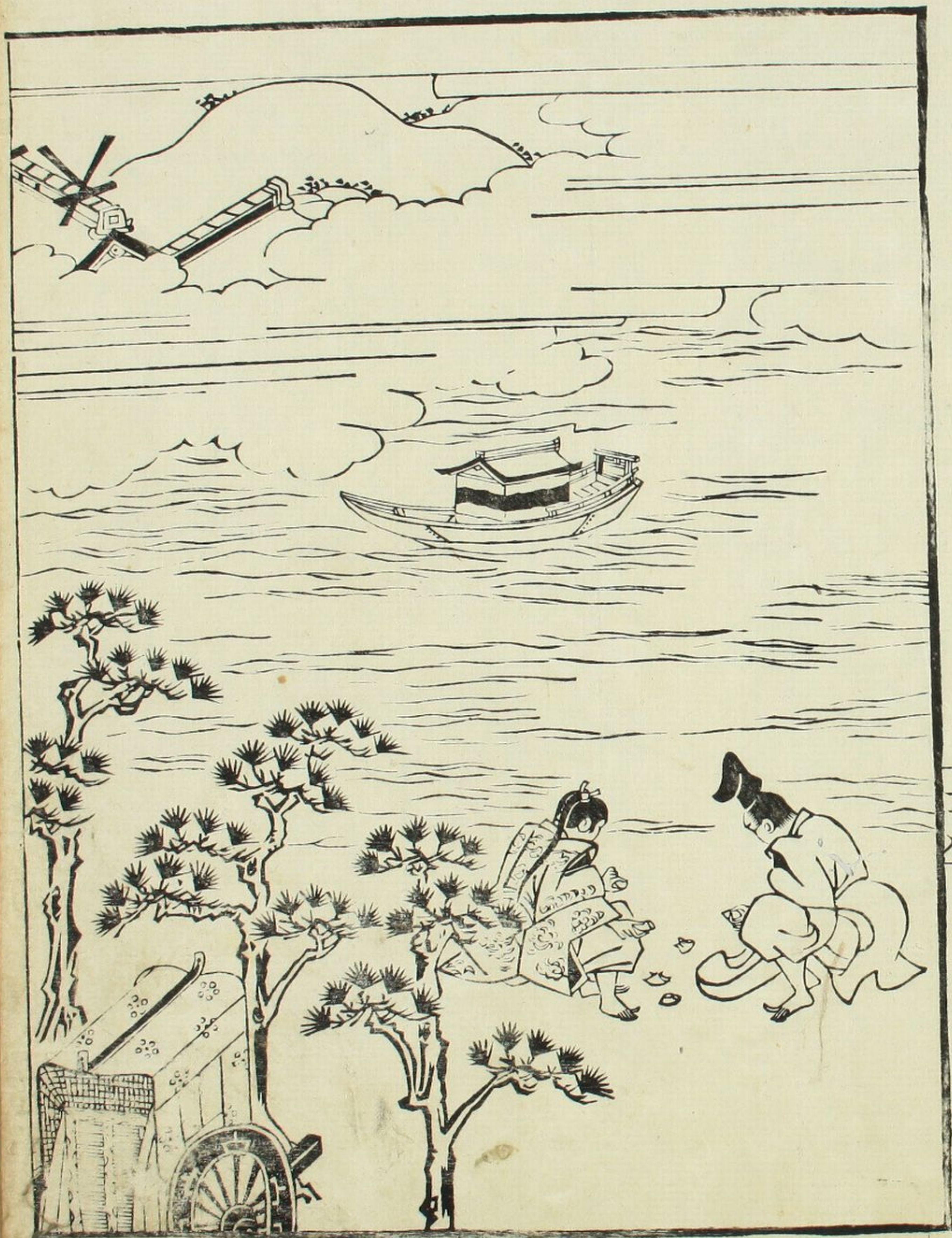
の石

師し

月つき明あ

花

石



正

十一

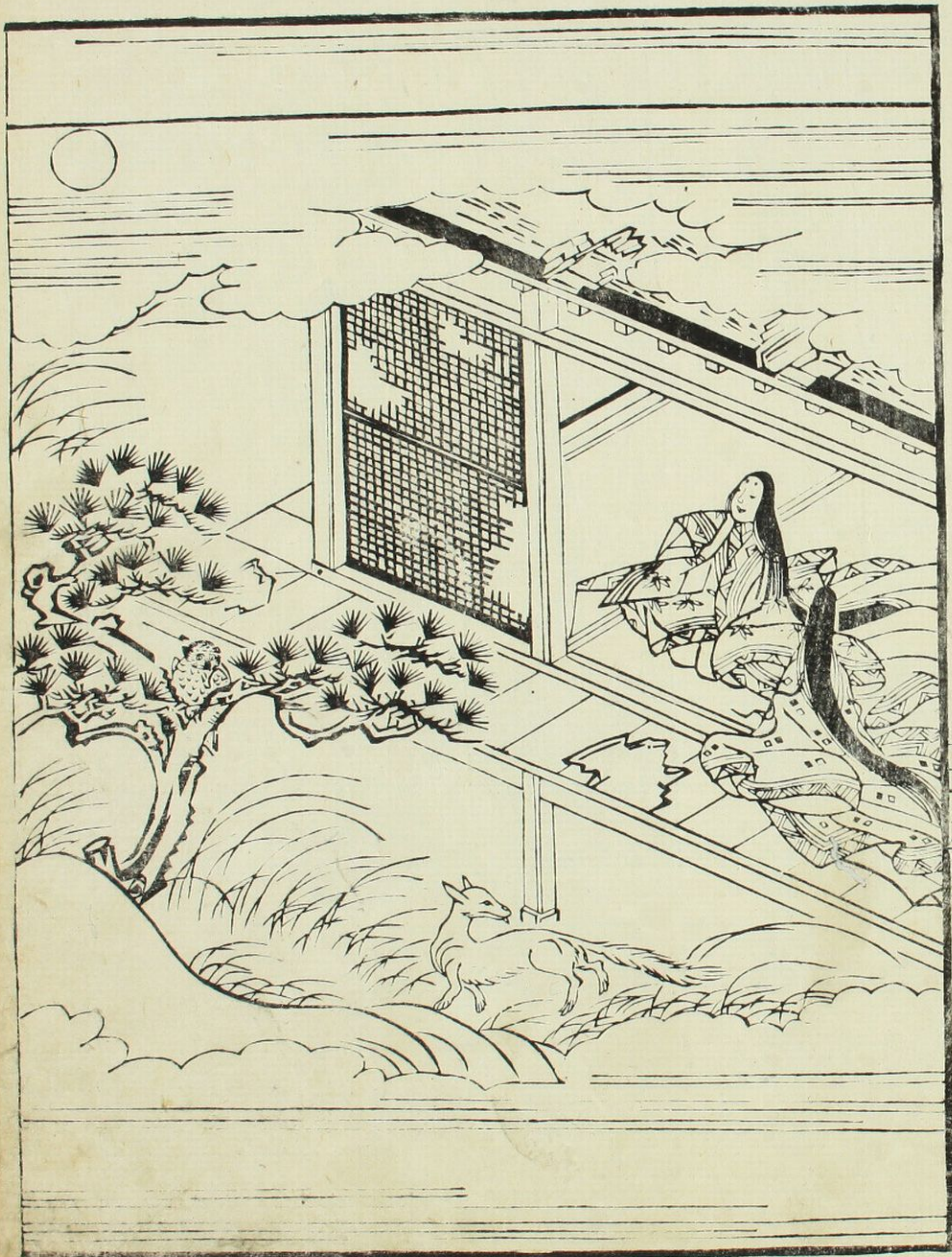
貝かひ

漂かひ  
漂かひ

心こころ  
路みち

任まか  
浦うら

し  
し  
し



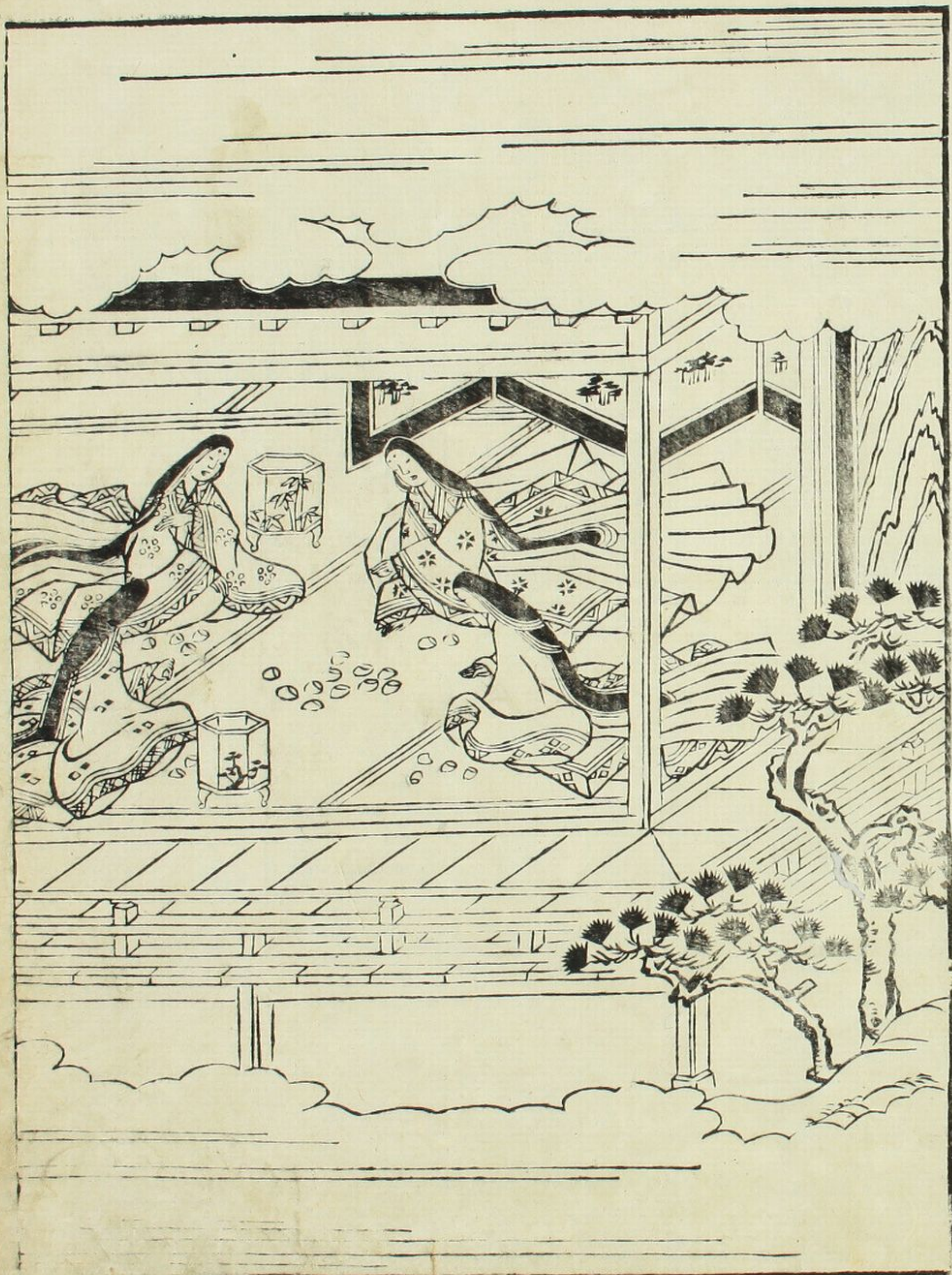
上十九

宿守やまもり  
 まふ乃  
 庭にわ生なま  
 有あ園のし  
 庭にわ生なま



上九二

世 よ 夢 ゆめ 也 や 之 の 母 はは 也 や  
 之 の 開 ひら 屋 や  
 夜 よ 之 の 心 こころ 之 の 結 むす 也 や  
 清 きよ 水 みづ 也 や



上九二

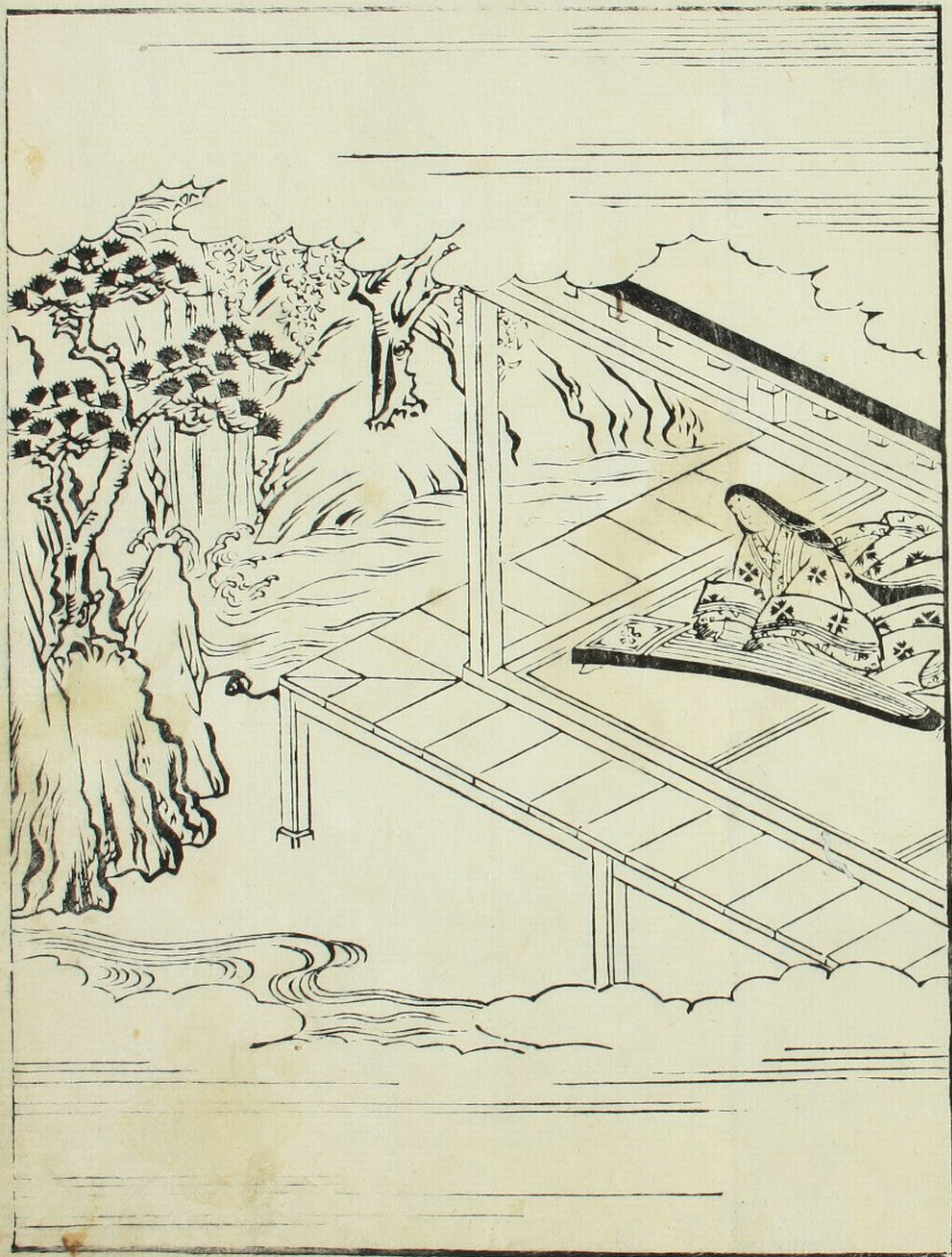
十二  
繪合ゑあひ

貝かい桶おけ也

あはれ

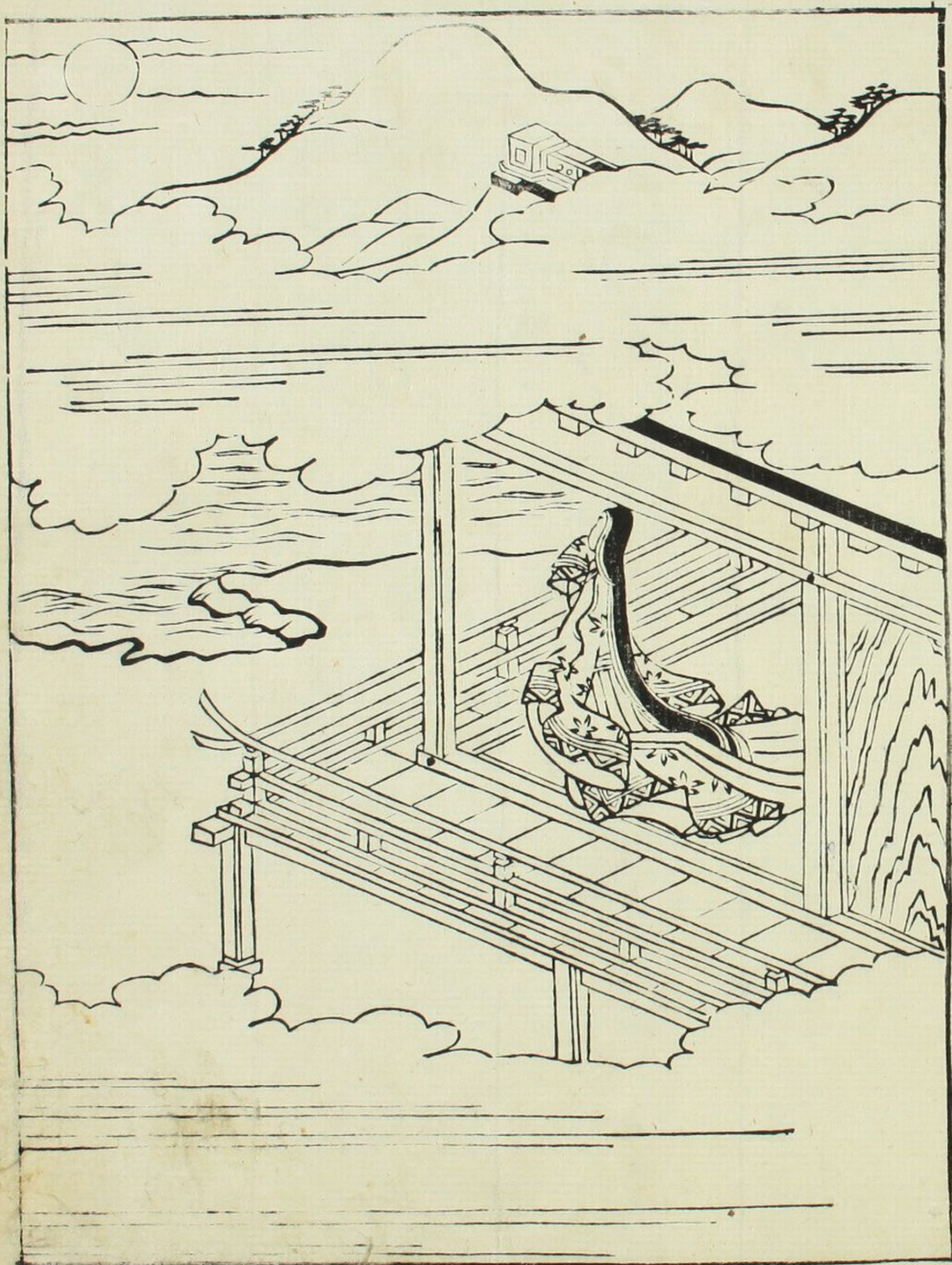
陰ゐ河かのの玉たま

款くわん合あひ



上三三

十三 三月也  
 松乃遊 松乃遊  
 松乃遊 松乃遊  
 松乃遊 松乃遊



上九三

十四  
為雲

乃 千  
乃 月 四  
乃 月 集  
乃 月 此  
乃 月 此  
乃 月 此  
乃 月 此





上九四

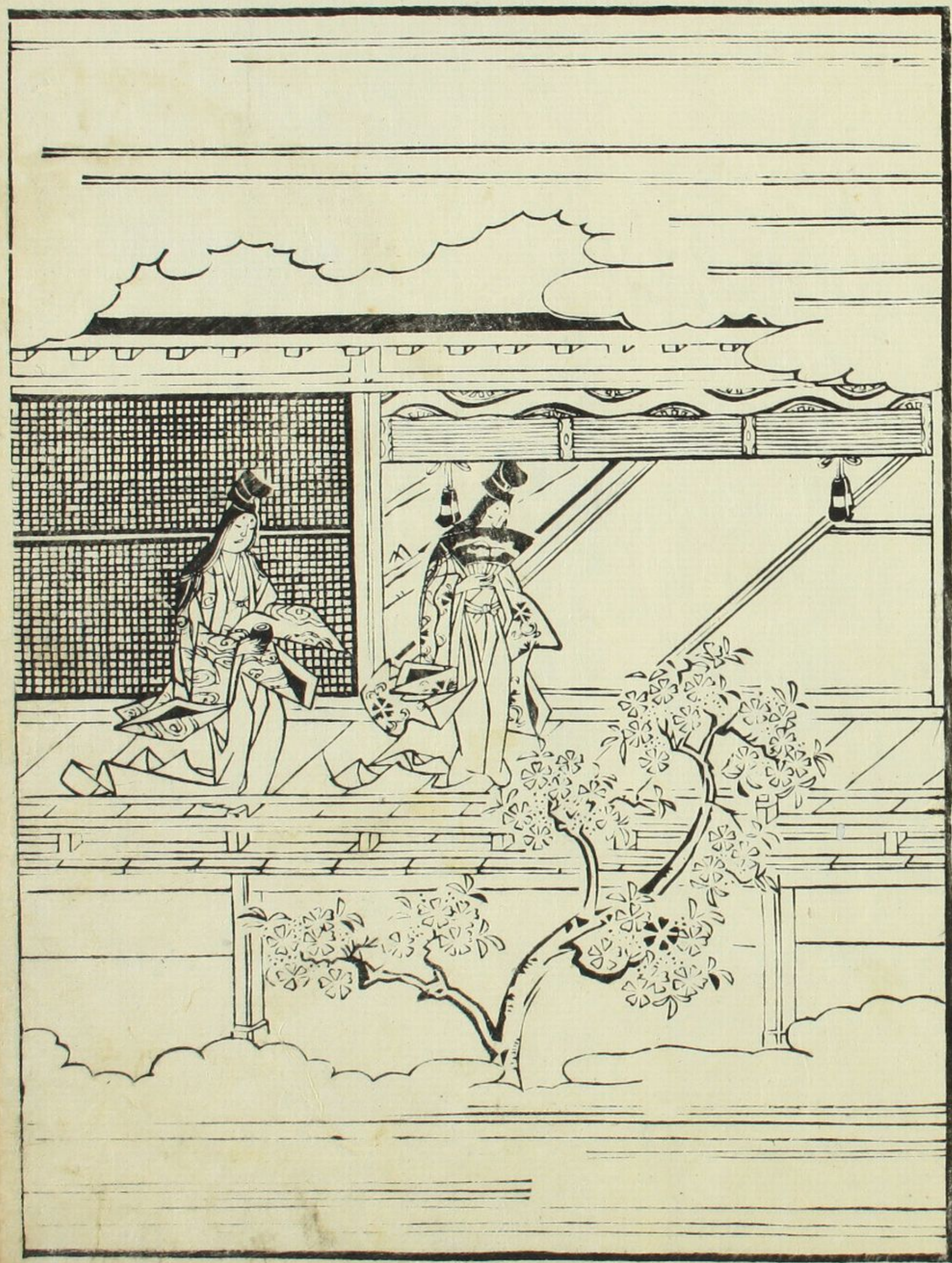
十五  
檜あきつが

釣あきか月乃ま

よた

病あや

瑞あ璃りの玉たま



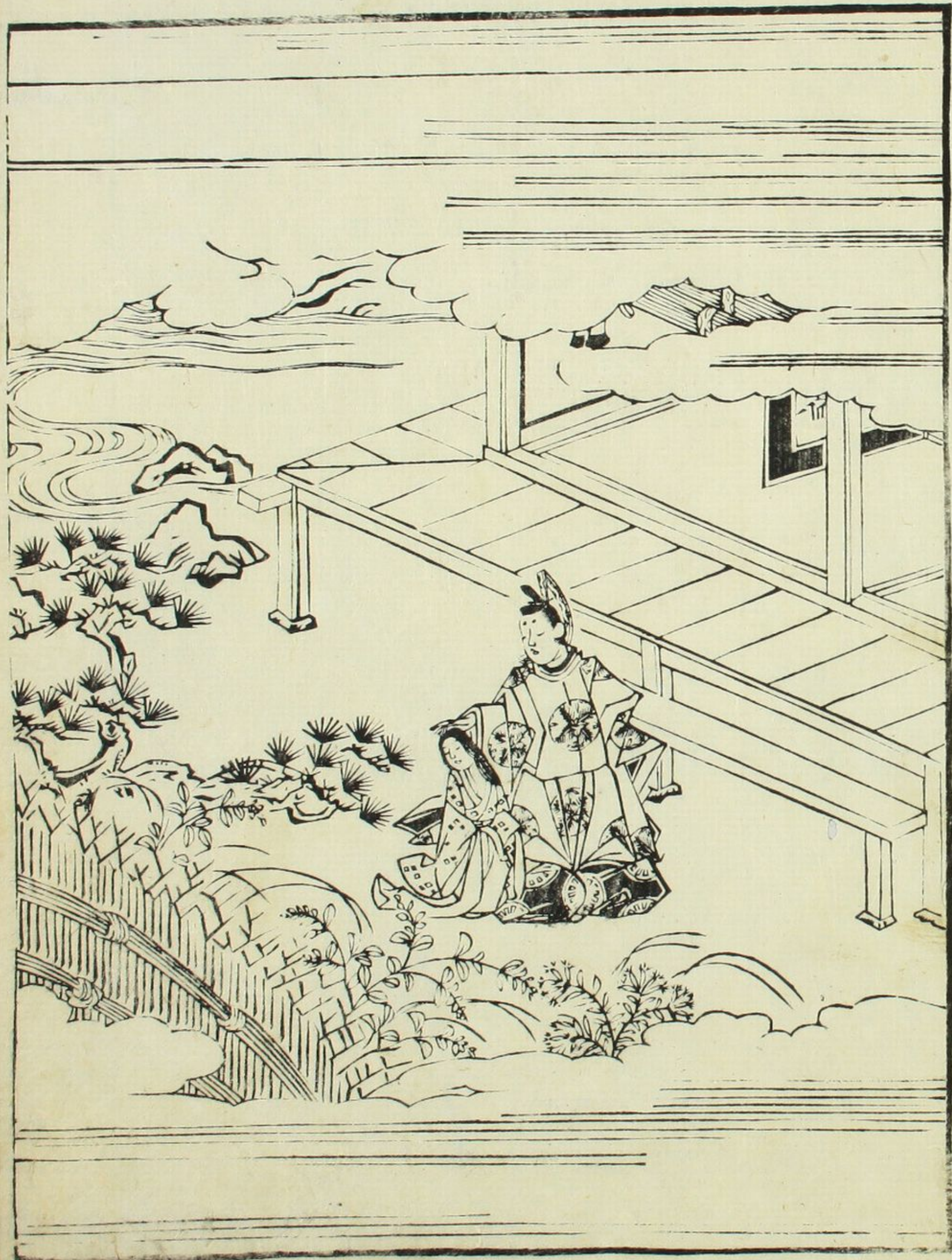
上北五

十六 を し を 女 め

花 はな 庭 にわ 乃 の 舞 ま

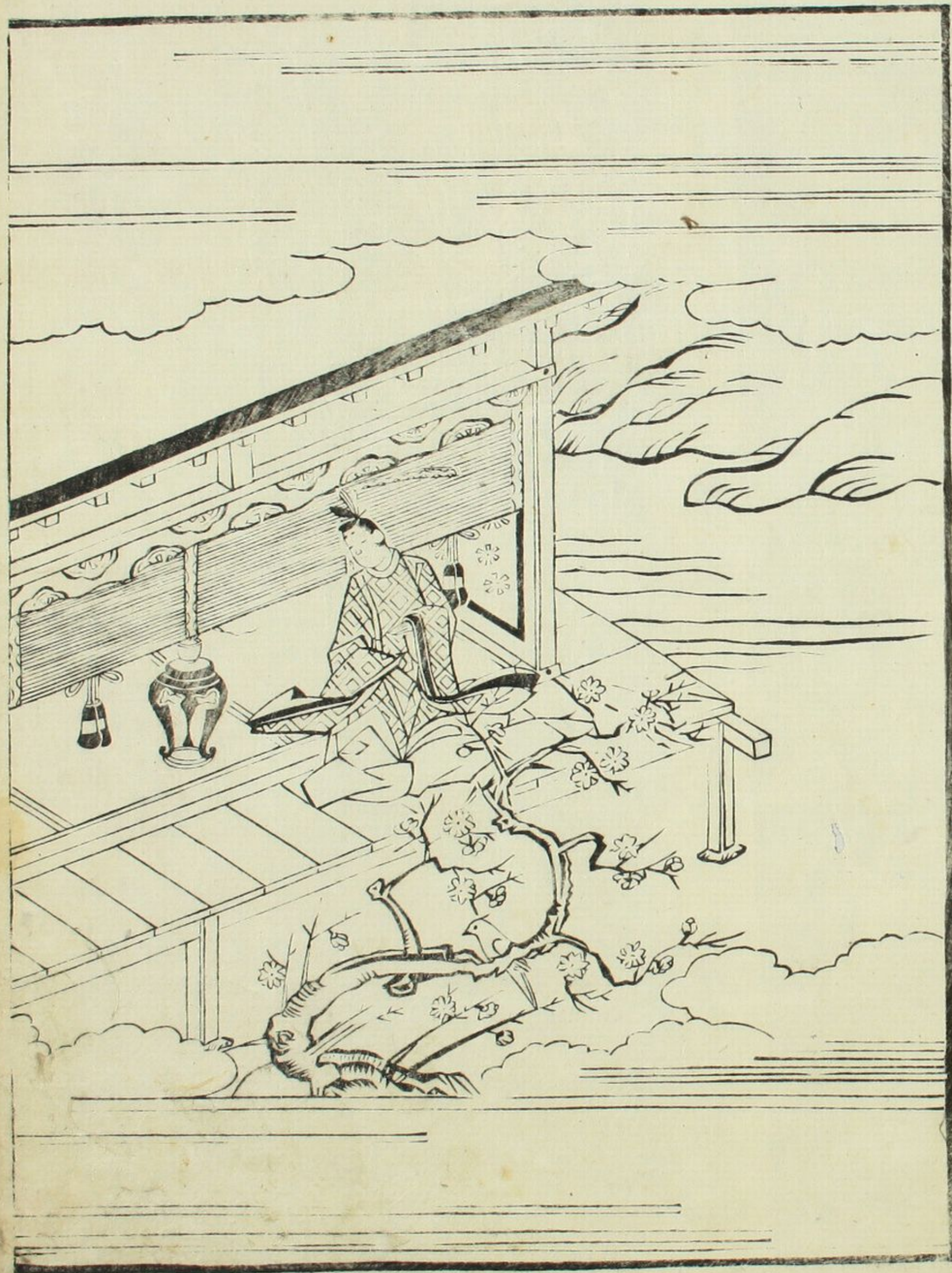
神 かみ 香 かぐ 乃 の 舞 ま

花 はな 乃 の 香 かぐ 乃 の 舞 ま



上六六

十七  
 たま  
 玉おろし  
 なる  
 の  
 ち  
 ち  
 ち



上七

なほ  
 印着

乃

ほ

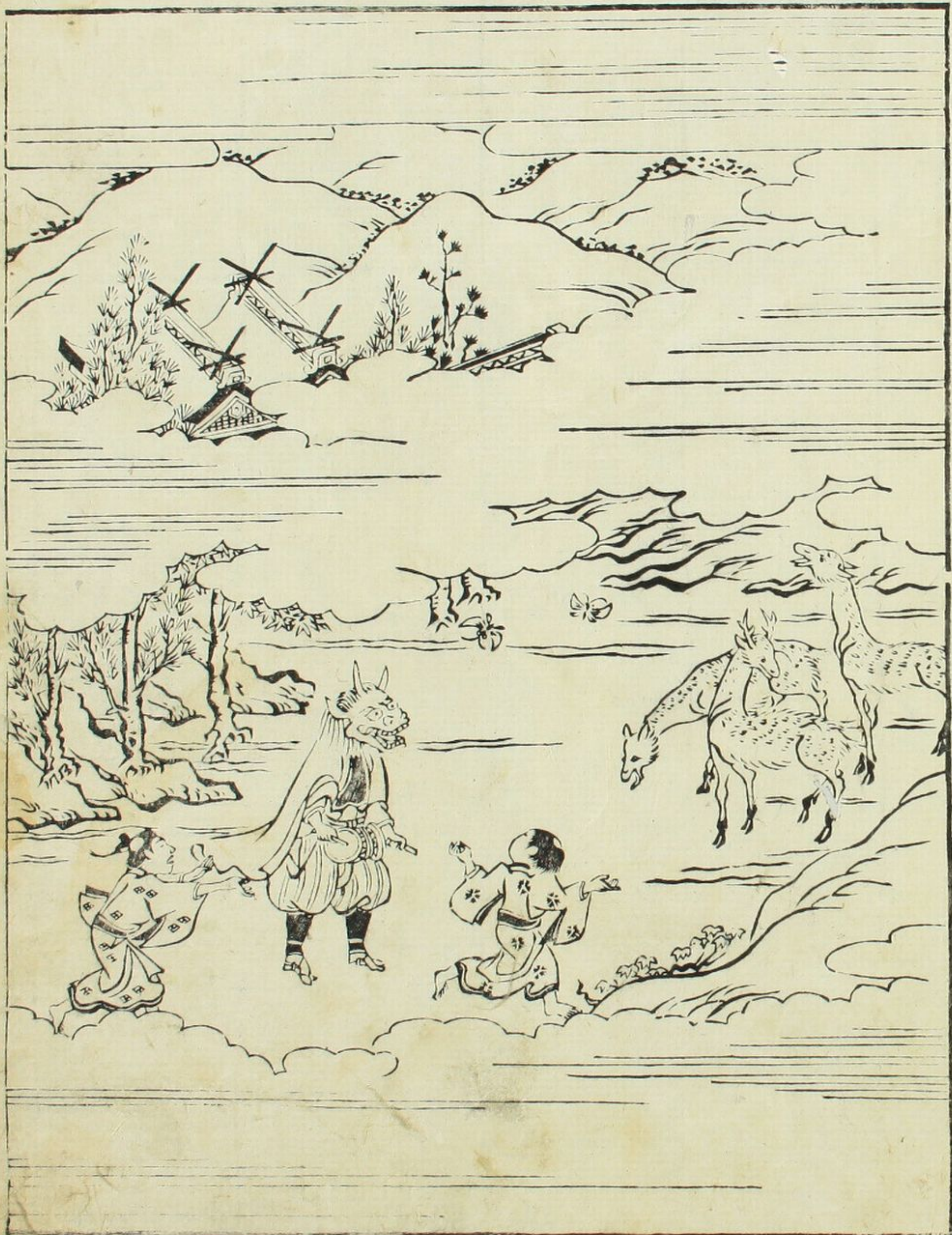
の  
 物

梅

心

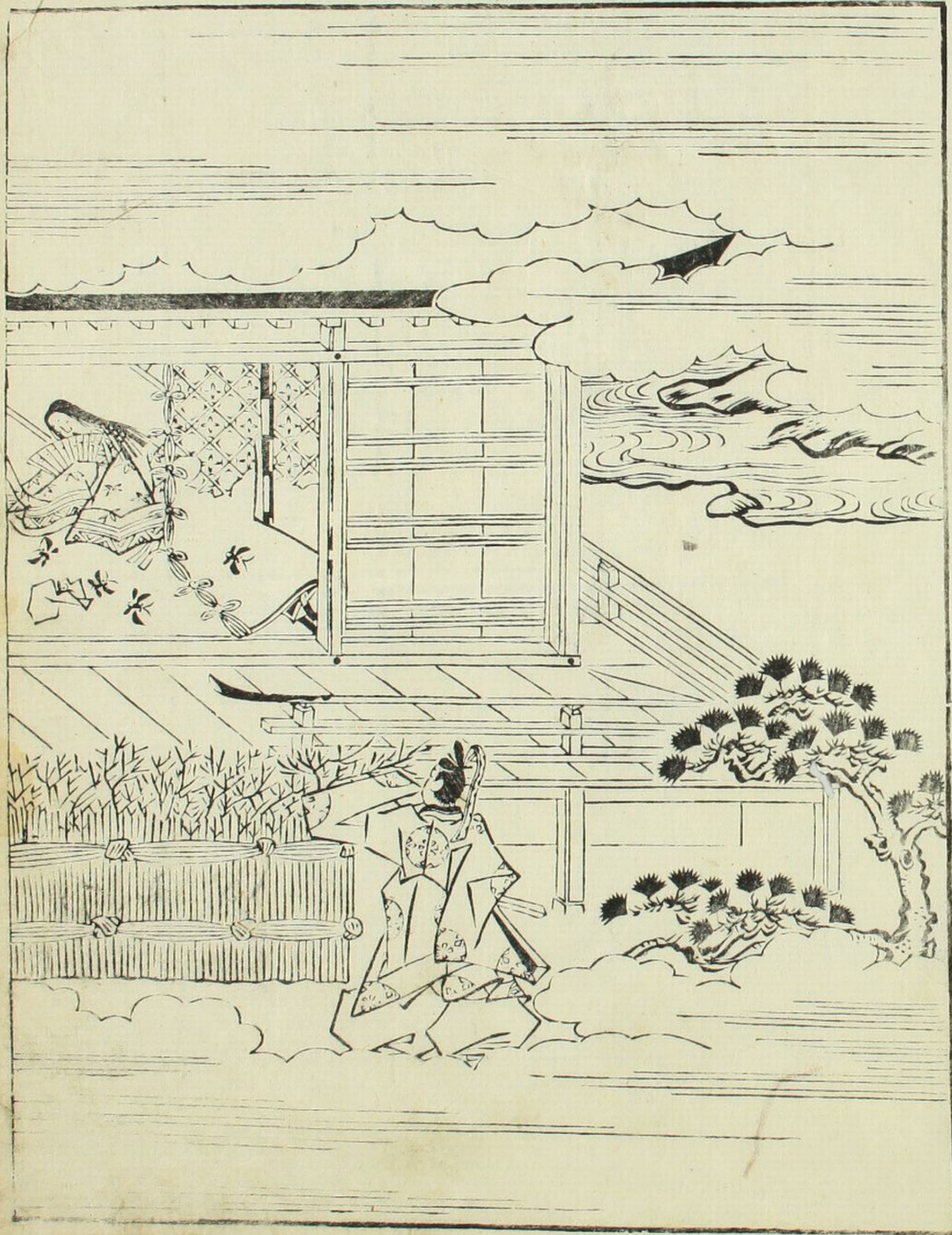
花

の



上六八

かゝい  
 故蝶  
 喜田の  
 柳  
 大  
 子  
 子



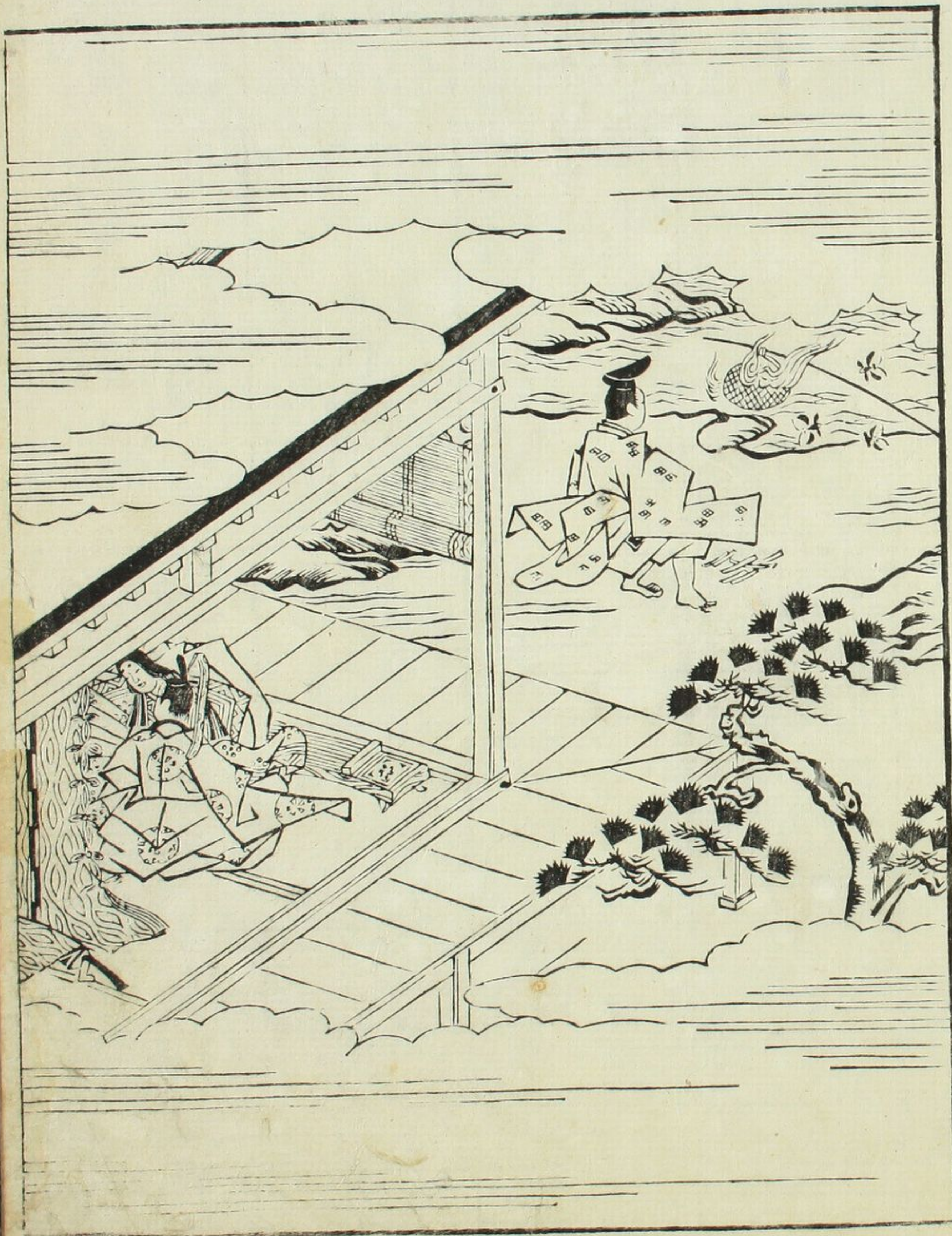
上六九

乃 色 奈 乃  
 是 乃 乃 乃  
 乃 乃 乃 乃  
 乃 乃 乃 乃



上九

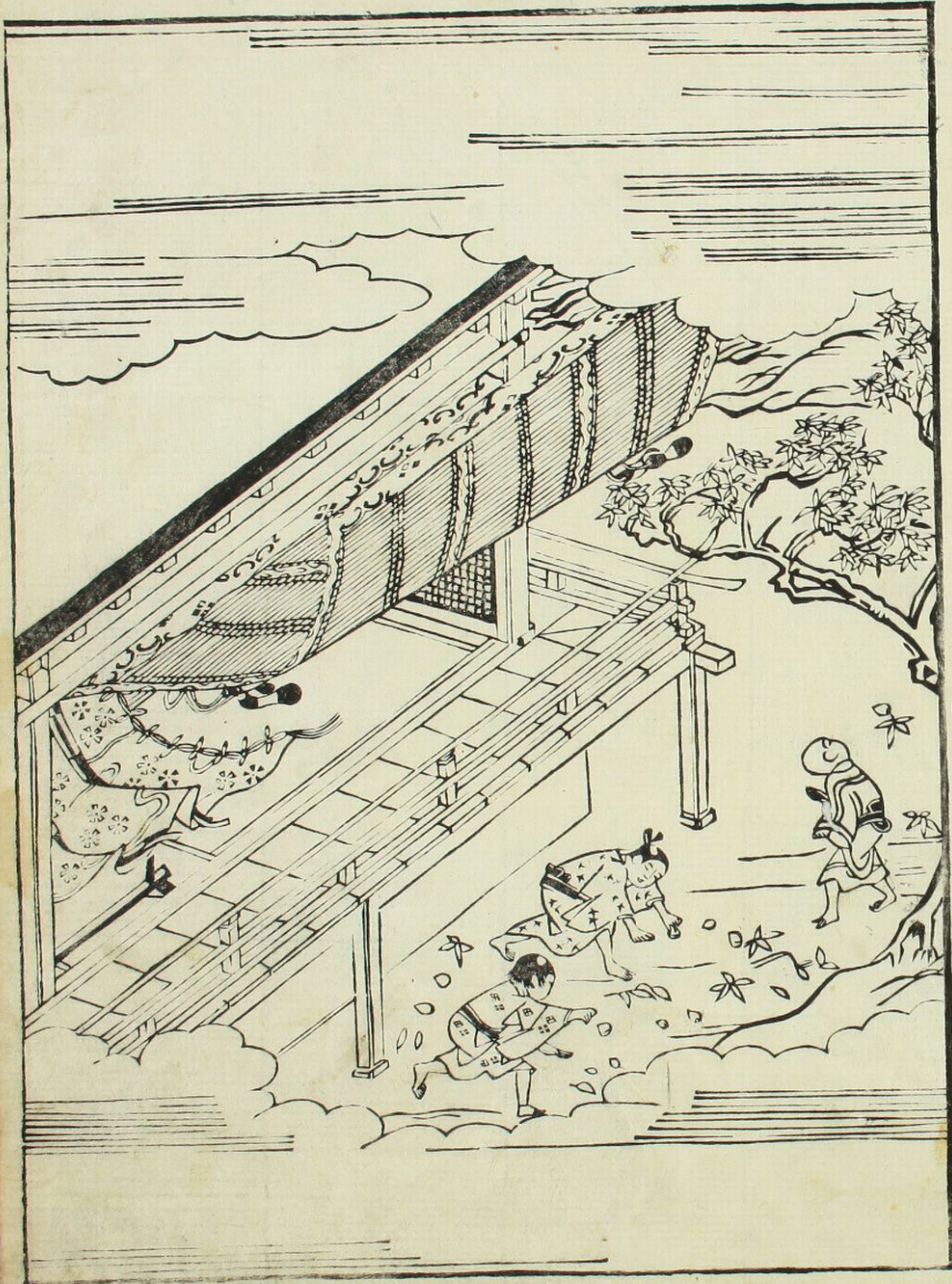
涼子  
 夕  
 明堂  
 瑞石  
 水  
 夕  
 明堂  
 瑞石



上  
一

奈々々  
 舞火  
 如  
 玉也  
 心  
 君





上北二

あゝい  
野の  
分ぶん  
あゝい  
かゝ  
あゝい  
あゝい  
あゝい  
あゝい  
あゝい

右馬腰子源氏を或へ朋友の  
見女のつひをよぶを捨らばさか  
奉れんやこれ友近むらひ  
と云ふは書成らふと云ふ  
おとあひのつひをよぶと深  
か

送江野  
仲安

